

校歌について

校歌作成の由来と楽譜

昭和11年、白秋先生は柳河地区の五つの中学校、小学校の校歌作成をたのまれています。このときは、まっ先に「矢留校校歌」と「矢留校応援歌」の二編を仕上げ、どちらも山田耕筈の作曲もそろえ、「弟鉄雄、義雄、従弟正雄、妹いえ」と連名で「母校に献ぐ」の献辞をつけて寄贈されています。そのときの事情を記した白秋先生の書簡があります。

北原白秋先生から北原甚吉氏（白秋先生の幼なじみ、現在の北原履物店）へ宛てた手紙 [1936（昭和11）年4月30日] から、矢留小学校校歌作成に至った様子が窺えます。

北原白秋先生から北原甚吉氏へ宛てた手紙

啓上 其後は癒々御健勝の事と存じます。実は下村多記氏（矢留小学校第8代校長：大正12年から8年間奉職）時代に一寸話があり色々心がけておいた矢留校の校歌が、このほど感興がしきりに湧いて、応援歌までが出来て了ったわけです。それで、君のところまで別封で発想しますゆゑお届け願ひ上げます。二編ともわたしの作歌の分は母校へ捧げる敬意をお伝え下さるよう。作曲はすでに山田耕筈氏に二編とも依頼しておきました。おほよそ出来たさうですから二三日うちにお届けします。（中略）白秋作耕筈曲の校歌や応援歌を一つの学校で二つとも所有してゐるのは帝国大学の外にはありません。尤も帝大のは純然たる校歌ではないゆゑ、正しく云へば矢留校が日本にただ一つといふことになります。（後略）

皆さんによるしく願ひます。艸々

四月 尽

北 原 白 秋

北 原 甚 吉 様

岩波書店『白秋全集 39』より

矢留小学校校歌楽譜



矢留小学校應援歌

作詞 北原 白秋 作曲 山田 耕筈

1. 輝く雲の翼
常勝の星は宿る
矢留 矢留 我等勢う
黎明 来り見よ
見よ この堅陣
鏗として 楯に音あり
フレ フレ 矢留
矢留 矢留矢留 フレ！
2. 風は満つ 下の平野
精鋭の 歩武は 進む
矢留 矢留 我等ふるう
水天 こぞり 聞け
聞け この矢 叫び
鏘として 射らば 響かん
フレ フレ 矢留
矢留 矢留矢留 フレ！